



# 港いじめ防止子ども宣言



みなとくりつ  
港区立

がっこう  
学校

ねん 年      くみ 組      (      )

## 【目的】

子どもは、それぞれがかけがえのない存在であり、一人ひとりが心身ともに健康に生活する権利があります。

子どもの心や体に深刻な被害をもたらす「いじめ」は、どの子にも、どの学校にも起こり得ることがあるとの認識に立ち、港区立小学校19校の児童・中学校10校の生徒が、自分たちの問題として捉え、いじめのない学校を目指します。

## 【いじめが起こる原因について】

- いじめは、相手の気持ちを考えないで行動していることや、相手をうらやましく思う気持ちやストレス、不安が原因で起こると考えられる。
- いじめられている子は、相談をしたくても相談できない現状におかれている場合がある。
- 周りにいる人たちは、自分もいじめられてしまうかもという不安から、見て見ぬふりをしてしまい、いじめを止めることができない状況がある。
- ◎私たちは、友達一人ひとりの違いを認めるとともに、いじめがあった場合は、個人でかえ込まず、周りの友達や大人に相談していく。

## 【いじめられている友達・いじている友達を見かけたら】

- 一人でできる行動
  - ・いじめられている人の気持ちを理解するのは難しいので、まずは、輪に入れて話し合う。
  - ・いじている人を見かけたら、いじめは、いけないことだと自覚させる。
- 周囲に力を借りてできる行動
  - ・いじめられている人を見かけたら、大人や先生に相談し、いじている人にいじめはいけないことを伝えてもらう。
  - ・いじている人を見かけたら、いじめはいけないことを周囲に伝え、みんなで話し合う。
- ◎いじめを見つけた場合、いじめられている人の気持ちに寄り添い、自分たちの問題として解決に当たる。

## 【いじめをなくすための取組】

いろいろな友達との関わりをもつ中で、相手を思いやって行動することが、いじめをなくす第一歩と考える。

### ○学校としての取組

- ・あいさつを定着させる。
- ・優しいことばづかいを定着させる。
- ・いろいろな学年と交流する。

### ○学年としての取組

- ・コミュニケーションをとるため、話し合う機会を増やす。
- ・相手の気持ちことを大切にする。
- ・友達のよいところを認める。

### ○個人としての取組（自分ができることを書こう）

・



◎いじめをなくすため、人権を大切にする気持ちを一人ひとりがもち、思いやりある行動する。

## 【いじめのない学校づくりのために大人や社会に向けて期待すること】

- 大人は子どもの手本であり、いじめに対しては断固とした対応をとって欲しい。
- 一人ひとりの個性を尊重して欲しい。
- 気軽に相談できる環境をつくり、子どもの話をしっかり聞いて欲しい。

◎いじめに対する考えを大人や社会に積極的に発信していくとともに、自分たちでできる取組をしっかりと考え、行動していく。

「港いじめ防止子ども宣言」は、平成24年12月10日に開催された「港区子どもサミット」で区内の小・中学生の児童・生徒の代表、総勢59名が、いじめのない学校づくりを一層進めるために協議を行い、決定したものです。

「いじめ」は、どの子にも、どこの学校にも起こり得るということを理解した上で、一人ひとりがいじめのない学校づくりに向けた責任ある行動をとっていきましょう。